

日新又新

題字 日々新又日新 揮毫 松山市立南中教諭 安部 琴代 解説は3面



発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスボワールド愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 大洲市立肱川中学校
- (3) 地区教育会だより(西予市) ローカルトピックス
- (4)(5) 特集「私の平成二十八年」
- (6)(7) 第四十四回入選俳句
- (8) ふるさとスケッチ

見守り活動は私の元氣薬



元愛媛県小中学校長会常任理事
元松前町教育委員会教育委員長

小池 ムツ美

退職時、今まで地域のこと
に無縁状態だったため、少し
でも役に立ちたいなあという
強い思いをもっていました。

ちょうどその時、民生児童委
員をさせていただく機会を得
たのです(三期九年)。

それから、毎朝、六時五十
分に家を出て、児童の登校の
見守りをしています。三キロ
の距離を歩くので、この時刻
に出発するのです。冬はまだ
暗い時刻です。

「〜ちゃん、おはよう。」の
声掛けで、個々の児童の状態
を把握し、必要に応じて言葉
を交わします。

信号を渡り終えたら、一安
心。このわずか二十分間が、

私を元気にし、やる気が出
て、その後の健康ウォーキン
グの足も軽やかになります。

この活動を始めて十余年。
継続できているのは、児童と
の交わりを通して元氣薬をも
らっているからだと思いま
す。

気になったことは、些細で
あっても学校に連絡します。
いじめの早期発見や不登校気
味の児童の元氣回復等に協力
できたらと思うと、余計に元
気が出ます。

こうして日々見守った児童
は、高校生になっても、大学
に入っても挨拶が返ってきま
す。成長していく姿を見なが
らの交わりも私の元氣薬に

なっているのです。

日々、表情を変える子どもたちとの交わりは、生きがいになっているといっても過言ではありません。

退職当時は、「先生」「校長先生」と呼ばれ、その払拭に苦勞しましたが、今は「小池さん」「ムツちゃん」と気安く声を掛けてくれるようになりました。地域のサロンを再開し、自分を飾ることなくさらけ出して交わっています。

我家がカフェになることも度々です。地域の方々の距離が随分近くなり、ここでずっと住みたいと思えるようになりました。

地域での人間関係の希薄化が課題になっている中、生かされていることに感謝し、元氣薬を求めて、できることをしていこうと思っています。

一略 歴一
(こいけ・むつみ)

- 昭和41年 愛媛大学教育学部卒業
- 平成8年 中島町立中島南小学校長
- 平成11年 中島町立中島中学校長
- 平成13年 松前町立北伊予中学校長
- 平成16年 松前町立北伊予中学校 定年退職
- 平成16年 松前町立松前幼稚園長
- 平成17年 松山東雲短期大学非常勤講師(平成24年まで)
- 平成19年 松前町教育委員

聞響

坂東眞理子氏の「親の品格」の中に「今何より大事なものは子どもを『俯仰天地に愧じず』、品格を持って生きる子どもに育てることである。」ということが書かれている▼「俯仰天地に愧じず」とは、「どこにも恥じることはない」という意味であり、孟子の言から生まれた言葉のようである▼世間様に対して恥ずかしいという意識は、伝統的な日本人はだれでも持っていた。「世間様に顔向けができない」「人に笑われる」、だから、こんなことをしてはいけないと自分の言動を規制し、モラル構築していたように思う。そして、このような日本人の行動様式は、幕末から明治初期にかけて諸外国から日本に訪れた人々から「恥を知る文化」として賞賛されたのは周知のことである▼ところが、今、あたかも自分の周りだけは目に見えないバリヤーがあつてその中にいる自分は、プライベートルな存在であり、何をしても他の人とは関係ないと思ひこんでいる。

そして、自分の行動だけを人間としての自由な個性の発現だとはき違えている▼自分勝手な理屈は時として醜い生き方を生んでしまう。

ひとこと

部活動の目的は



愛媛県 会長 大澤 博
小中 副会長

今年の夏のリオオリンピックで、二大会ぶりにメダルを日本に奪還させた、シンクロナイズドスイミングの井村雅代さんは、スパルタ式の厳しい指導で定評があり、「シンクロの母」とも「シンクロの鬼コーチ」とも呼ばれています。井村さんは、シンクロを教える最終目標は、「メダルではない。スポーツを通じて、努力することや耐えることを覚えて、よりよい人間になってもらいたい。私の究極の目標はそこなんです」と言っています。

ある国際大会の時に、勝者に贈られる花束が、無造作に部屋に放り出されているのを見つけて、井村コーチが声を荒げたそうです。「お花も生きてるんやから、水に入れてあげなさい」「容器がないから」という選手たちの言い訳にさらに怒りは倍増し、「少

しは考えなさいよ」と、空になったペットボトルの上部を切り取り、即座に花入れにする。試合が終わった後で、その花束にありがとうという言葉葉を添えて、お世話になった人の所に持って行く。井村コーチに教えられて、以後、選手たちはそれを実行しているそうです。「花を大切にすること、日常生活の中で、人間としてのモラルを大切にすることから勝負は始まっている。人間としての成長なしに勝利はないということではないでしょうか。

指導者であり教育者である井村さんの生き様は、中学校の部活動にも大変参考になると思います。

学校生活の中で、「挨拶・掃除・時間厳守・規則遵守」等を指導することは、部活動の練習以前にやるべきこととして、最も大切にしなければならぬことだと思えます。

そして、上位の大会を目標として、技術指導をすることは大切なことですが、「こんな人間に育ってほしい」という目的をもって、生徒たちと向き合うことは、それ以上に大切なことではないでしょうか。

(今治市立立花中学校校長)

学校紹介

No.174

大洲市立肱川中学校

松山盲学校との交流活動

本校と松山盲学校との交流の歴史は古い。三十九年前に、肱川の一人の少女が松山盲学校小学部に入学したのを機に、この交流が始まりました。ここ数年は、本校が松山盲学校を訪ねていましたが、今年度は今年度の交流会の様子をご紹介します。

まず受入れの下準備として、松山盲学校の先生をお迎えし、講演会を開きました。盲学校の紹介、アイマスクによる視覚障害疑似体験や点字体験などを行いました。生徒だけでなく保護者にも参加していただき、貴重な研修の場となりました。

受入れ当日、三年生十四名が、少々緊張しながら八名の盲学校中学生を玄関に迎えました。「階段です。あと二段、あと一段、そのあとまた低い段差があります。」などと、練習どおりに声をかけながら体育館に案内し、交流会が始まりました。

自己紹介や「ボール回し」「指キヤッチ」等のゲームで子どもたちはすぐに打ち解け、つなぐ手と手のぎこちなさも、知らぬ間に消えています。そして、最後の「じゃんけん列車」では、両校の生徒

が心も体も一つに連なり、笑顔が体育館にはじけました。その後、河原まで仲良く会話しながら移動し、ランチタイム。食後は、「グループ対抗ニジマスつかみどり大会」です。事前に三年生が川の中央に石を積んで池を作り、ニジマス百匹を放しておきました。生きた魚に触るのは初めてという生徒もおり、大きな歓声が何度も上がりました。特に印象に残ったのは、手の中のニジマスに目を近づけ、あきることなく見続ける少女の姿。光に反射するニジマスの不思議な色を、何とかして瞳の奥に捉えようとしているようでした。

盲学校生は、自校以外の生徒と接する機会がほとんどないそうです。後日、「さいごにみなさんとおわかれするのがさびしかったです。」というお礼状が届きました。苦労

して書いたのでしょうか。平仮名だけのたどたどしい文字の一つ一つに、生徒の思いを強く感じました。子どもたちは、肌の温もりや息遣いを直に感じることで、心の障壁を取り除くことができました。私たちの目指す共生社会の第一歩がそこにあると思います。松山盲学校と肱川中学校双方にとって貴重なこの交流が、末長く続くことを心より願っています。



(校長 船津 治)



俳画・水墨画教室 永井千恵子作

題字に寄せて

日々に新たに
また日に新たな



中山南市 安部 琴代

「苟に日に新たに、日々に新たに、また日に新たななり。」

これは、『大学』に記された言葉です。殷の湯王は、この言葉を洗面の器に彫り、毎日の自誠の句としていたといひます。「今日の行いは昨日よりも新しくよくなり、明日の行いは今日よりも新しくよくなるように修養に心掛けねばならない。」という意味です。

今年こそはと意気込んだこの一年も、締めくくりの時期になりました。

時々刻々と絶えず流れる時間についていきながら、「日々新又日新」、新しい一年がまた始まります。

(出典『中国古典名言事典』)

地区教育会
だより

西予教育会
支部活動を
かなめに



西予教育会 兵頭 豊司

西予教育会は、現職会員二七三名、退職会員二七四名、賛助会員五七名の計六〇四名で今年度の活動を行っている。

本会の大きな目的は、会員相互のつながりを深めることにある。特に現職会員と退職会員の関係性を大切にし、連携して西予市教育の発展に寄与したいと考えている。

そのためのメインの活動が夏休み中を中心に行っている各支部(旧町)の研修会・懇親会である。三瓶・明浜・宇和・野村・城川の五つの支部がそれぞれに工夫を凝らした活動を行っている。現職会員の発表、退職会員の講話、新しく統合した学校の見学、レ

クバレーなどなど、各支部の伝統を大切にしつつ、退職会員・現職会員が知恵を出し合って運営に努めている。

西予市では、ここ三年間で学校数が十三校減少した。それに伴い現職会員の数が減り、これまでと同じような運営が難しくなってきた。支部の見直しなども検討しなければならぬかもしれない。

しかし、今後も支部での活動を大切にし、会員相互のつながりを深め、さらに魅力ある西予教育会にしていきたい。



ローカルトピックス

千体の埴輪



今年で設置数は千体を超えました。いずれも表情豊かで、子どもたちの思いや願いが込められた力作ばかりです。自分たちの作品が気に入る、里山を訪れる子どもは多くいます。この地は、古墳時代後期の円墳群(五郎兵衛谷古墳群など)があり、古代や未来へ夢を馳せる場所になっています。桜、あじさい、白萩など、季節の花も楽しめます。是非一度埴輪をご覧ください。

文教月報編集協力委員 門屋 浩
松山市窪田小学校長

鷹子町運動公園の北側に、

荒廃林を整備した里山があります。大人から子どもが自由に集い、遊び、触れ合い、四季を通じて自然と共生するかけがえない場となっています。

里山づくりに一役買っているのが、久米小学校と窪田小学校の六年生による「里山埴輪づくり」です。地域の方の指導により、二人一組で高さ五十センチメートルほどの埴輪を、卒業記念として制作します。久米地区の瓦屋さんで焼成し、地区文化祭で展示後、里山に一体ずつ設置されま

足跡をつづる、私を記す形に残す。
あなたが主人公のドラマを未来に伝えませんか。

受賞作品
多数制作

品質・デザイン力に自信あり!
本づくり応援

プロのスタッフが校正作業をサポートします!
プロのデザイナーがデザイン力を発揮します!

●規格・装丁のご提案 ●編集方針のご提案 ●レイアウト見本のご提示
●原稿作りのおアドバイス ●予算のお見積り ーその他、ご相談承ります。ー

ご注文・お問い合わせは、印刷営業部 TEL (089)945-0112 FAX (089)947-6073

SEKI セキ株式会社

印刷部 〒790-0171 徳島県徳島市 電話 (089)945-1111
本社 〒790-0171 徳島県徳島市 電話 (089)945-1111
支店 〒790-0171 徳島県徳島市 電話 (089)945-1111

特集 私の平成二十八年

私の平成二十八年 夢の舞台へ



小野角市浜新居
教諭 高橋 章子

Nコン（NHK全国学校コンクール）全国大会に出場が決まった。渋谷のNHKホールは、Nコンに参加する人たちにとって、夢の舞台である。私にとつての全国大会は、合唱仲間と聴きに行くのが、一夏頑張った自分へのご褒美であった。往復葉書をせっせと投函し、入場整理券を手に入れた。まさか、その舞台に自分たちが...それからが大変であった。演奏はもちろん不安であるし、短期間で決めないといけないこともたくさんあった。そして服装のこともその一つであった。「ポロシャツに釣りスカートじゃ寂しいな」と思っていると、「服装係、私たちやりまーす。任せといてください」と、二人の先生が名乗りを上げてくれた。それから、「こんなのだうですか?」と、アイデアをあれこれ出してくれ、布を調達し、アシスタントの先生も加わ

り、夜なべ仕事で蝶ネクタイとリボンをつくってくれた。舞台袖で膝がガクガクしていた子もいたが、この蝶ネクタイとリボンに守られて、みんな顔で胸を張って、最後まで歌い切ることができた。これまで支えてくださった角野小学校の先生方、演奏で助けてくださった新居浜市内の音楽の先生方、豊かな声をつくってくださった前任の先生、四月に出逢ってから、共に頑張ってきた子どもたちにも感謝である。みんなが臨んだ全国大会であった。

私のパワーの源



小乃万市治
教諭 別府 真依

私は、今年、新規採用教員となりました。頑張る原動力となっているのが、講師一年目に出席したある親子から毎年届けられる手紙です。今年、子どもからは、「私は、真依先生が一番目の教え子です。忘れないうください。」母親からは、「今年こそ、また、この学校に来てくださると思

い、楽しみにしております。」と記されておりました。私は、これらの手紙を何度も読み返し、励みにしています。もちろん、今のクラスの子どもたちにも力をもらっています。先日、研修会から帰ると、教室の黒板にたくさん誕生日のメッセージが書かれていました。子どもたちの思いやりに、思わず涙があふれてきました。時にはいたずらをするけれど、私の誕生日を覚えていてくれて、温かい言葉を寄せてくれたかわいい子どもたちに、日々力をもらっています。

また、同期の仲間からもパワーをもらっています。新採の宿泊研修では、火の神を演じた人の演技力に驚きました。そして、皆、前向きな反応をし、どんな出し物にしてもすべらないような雰囲気を作り出してました。飯盒炊爨の後片付けでは、男性陣が、「ぼくらに任せて。」と、進んで行ってくれました。この気遣いがまさにイケメン。そして何より、明け方まで、熱く語り明かしたパワーさ。研修では、仕事の話しかしてないので、同期の仲間の新しい一面が伺えて、私は大いに刺激を受けました。二十八年度は、他にもいろいろな人からももらったパワーを蓄えすぎ、やせられない私です。これからも、出会いを

大切に、パワーみなぎる私でいたいと思います。

ビフォーアフター



小湯山
教諭 濱田 徹也

再任用の一年目、今まで当たり前だった学校という場や教え子が特別なものに思え、子どもたちに接している時間が、かけがえのないもののように思われる。

教師になれてよかった、教師を続けられてよかったとつくづく思っている。

一時間一時間の授業が新鮮で「この時間どう教えようか。」「ここは難しいので、前の学年の復習から始めよう。」など、毎日楽しみながら授業をしている。

体育で今楽しんでいるのがハードル走の抜き足の指導。

①真横にキープできる足を抜き足に決める。

②またぎ足をポンとその場で踏んで、連動して抜き足を動かす。

③またぎ足を高く上げて抜き足を抜く。

④またぎ足、抜き足、次の足を動かす。

⑤今までの②③④を、ハードルをまたいだ状態からする。

⑥ハードル手前から、一歩またぎながら②③④をする。このスマールステップで、ほとんどの子がスムーズなハードリングができた。こんなささやかなエピソードを重ねながら、教師にとつて子どもの成長こそが一番の喜びなんだと、ことあるごとに思っている。

定年退職し、第二の人生という考えもあったが、現職でできなかったこと、反省を生かしながら、平成二十八年を楽しく迎える。再任用のフルタイム、お勧めです。

「向かい風」に立ち向かえ!

八幡浜市民ミュージカル『二宮忠八物語』に出演して



小宮内市
教諭 藤堂 玄人

平成二十八年七月三十日と三十一日の二日間、八幡浜市文化会館「ゆめみかん」で八幡浜市民ミュージカル『二宮忠八物語』が上演され、私も晩年の二宮忠八役として出演した。この『二宮忠八物語』

は、世界で初めて飛行原理を発見し、挫折を繰り返し「向かい風」を受けながら、人が空を飛ぶという大空への夢を諦めなかった八幡浜市出身の偉人、二宮忠八の生涯を描いたミュージカルである。役が決まってから半年間、スタッフや演者の計百名が、一丸となって稽古に取り組んだ。「自分のすべてを一緒に演じる役者と観客に向けなさい。」これは、ご指導くださったプロの演出家の教えの一部である。そこに、素人だからという妥協は一切なく、決して甘えは許されなかった。

このように厳しくレベルの高い稽古だったが、不思議と「やめたい。」とは思わなかった。むしろ、次々と現れる演技の壁、すなわち「向かい風」に対し、二宮忠八より立ち向かい、少しづつ高く舞い上がる仲間や自分の姿に喜びさえ感じていたように思う。

そしてミュージカルを終えた今、確信したことがある。それは、「向かい風」は外ではなく、自分の心の中を吹くということだ。「無理」と思っ

心穏やかに



宇和島市立波方小学校 校長 赤松 伸二

平成二十八年、お蔭様で無事に還暦を迎えることができました。昭和三十一年生まれなので、平成より昭和の生活

祝 受章おめでとうございます

◆瑞宝双光章（秋の叙勲）

尾上 眞一様	70歳	元今治市立波方小学校長	今治市
竹場 忠芳様	70歳	元宇和島市立番城小学校長	宇和島市
田中 務様	70歳	元松山市立拓南中学校長	松山市
増池 武雄様	74歳	元西宇和郡保内町立川之石小学校長	八幡浜市
◆瑞宝双光章（高齢者叙勲）			
船田 彌様	88歳	元北宇和郡津島町立津島中学校長	宇和島市
久保田ユズル様	88歳	元北宇和郡三間町立二名小学校長	鬼北町
矢野 和泉様	88歳	元北宇和郡松野町立松野南小学校長	松野町
眞田政之助様	88歳	元東予市立壬生川小学校長	西条市

徳田さんの法律豆知識 No.3

遺言書があっても、必ずしも、そのとおりにならない場合があるといわれるのは、遺留分という制度によるものです。

遺言書に書いてあることを享受するのであれば、遺留分減殺請求という権利行使をしなければ、それはそれで構わないのです。

また、相続人すべてが遺留分権利者であるのではなく、民法では、配偶者（二分の一）、直系尊属（三分の一）及び直系尊属（三分の一）と定められていて、兄弟姉妹には、遺留分を認められません。事例を、お示ししますと、遺留分権利者がいない女性が「全て妹に相続させろ。」という遺言書を残されました。妹さんは、兄の子（姪）に、なにがしかの物を形見分けし

の方が、まだほんの少し長いようです。今年度末で定年退職という節目の時でもあり、過去も振り返りながら充実した生活を送っています。

私は、神社仏閣を参拝するのが大好きです。幼い頃祖母に連れられて近くの札所によく行ったことが、影響しているかもしれません。四十代のころから、規模の大小に関係なくいろいろな神社や仏閣を回っています。お馴染みの四国遍路も、長期間かけながらですが、二回目を終えました。

今年も、夏休みを利用して、書寫山圓教寺に行ってきました。十年ほど前に一度お参りをしましたが、是非もう一度行きたくて足を運びました。

ロープウェイで山を登り、さらにマイクロバスで移動すると、自然の中にある広大な境内とたくさんの重厚な建物が現れます。圧倒されると同時に心が清まった感じがします。また、西の比叡山とも称されるように修行の道場という雰囲気漂っており、猛暑の中でも気を引き締めて歩くことができました。

最近感じることは、若者や外国人の参拝者が多いことです。しかもほとんどの人が、観光だけではなく、内面的なもの求めてくるように見えます。凶悪事件が多発する現代社会だからこそ、崇高な空気に触れる機会を大切にしたいと思っています。

たいということ、連絡を取られましたが、その姪は、「会う必要などありません。法律に則って処理してください。」という冷たい返事でした。そのため、遺言書に基づく処理をされました。後日、姪から「自分の相続分は、どうなっていますのか、遺留分の請求をします。」という連絡が入りましたが、貴女に遺留分を請求する権利はありませんというところで決着しました。

相続は、法律に規定はされていますが、基本的には人と人とのつながりや理解しあう心が大切であると痛感したところでした。

愛媛マラソン

2017.2.12 開催

参加される教職員の方に
Tシャツを進呈予定！

詳しくは下記までお問い合わせください。

教育振興
事業

奨学事業
教育研究助成事業
教育文化事業

福祉
事業

共済
事業

（提携保険事業）

公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部

〒790-8545 愛媛県松山市祝谷町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内
TEL(089)932-8358 FAX(089)932-8357

第四十四回愛媛県教育会俳句募集入選句

協賛 愛媛県学校生活協同組合連合会

一般の部

投句者 二五名 投句数 四一句

近藤良郷先生選

特選

日めくりの止まったままに初の盆 宇和島 池田多津子
(評) 身寄りの人が亡くなられた。初めての盆である。日めくりもその日のままである。何も手につかないまま初盆を迎えた。さびしい。

優秀

透き通るカーテン越しの風は夏 伊予 神野 正憲
民宿の夕餉に座せば柚子香る 松山市 野尻 精一

佳作

青みかん香る玄関子らの声 宇和島 池田多津子
初産の母子健康と初電話 四国中央 高橋八重子
足音は二十三時の火の用心 新居浜 中原 佳子
鍬振つて楽しき余生島の春 今治 越智 金子 敏雄
鎌を研ぐことから始め草を刈る 松山市 野尻 精一
蛇払ひ半身浴の露天風呂 松山市 佐伯いづみ
放水に二重の虹の架かるダム 松山市 篠原 邦博
白靴を汚し少年球を追ふ 松山市 門屋 浩
火祭や老母の掌握り児に返る 松山市 土居 真美
大夕焼け島の架け橋走り抜け 松山市 関谷 無己

吉田晃先生選

特選

日めくりの止まったままに初の盆 宇和島 池田多津子
(評) この句には、感情を表す言葉は使われていないが、亡くなった家族への強い思いが感じられる。大切な人を失くした悲しみを読み手の体験に委ねているのである。

優秀

透き通るカーテン越しの風は夏 伊予 神野 正憲
民宿の夕餉に座せば柚子香る 松山市 野尻 精一

佳作

初産の母子健康と初電話 四国中央 高橋八重子
しまなみを駆くる自転車麦の秋 新居浜 中原 佳子
鍬振つて楽しき余生島の春 今治 越智 金子 敏雄
差し向ふ夫なき一人のおやつ時 八幡浜 谷本 澄子
彼岸花初の秩父や滝の音 松山市 村井美重子
さぎ草の道後の旅館湯の香る 松山市 村井美重子
子を連れて茅の輪をくぐる下駄の音 松山市 青木美知子
リズムよく作るバターや青き風 松山市 佐藤 郁子
白靴を汚し少年球を追ふ 松山市 門屋 浩
川遊び見張り役へも水しぶき 松山市 上本みさと

ジュニアの部

応募校 二二校 投句数 三三三句 (校名下の数字は学年)

高山佳子先生選

特選

入道雲二つ並んでそびえ立つ

栗井小四 野本 翔太

愛媛県教育会 積立年金制度

現職会員の皆様! 退職後のゆとりある生活のために... 自助努力が必要です。 月々2,000円から積み立てがはじめられます。 公益財団法人 愛媛県教育会 電話 089-945-8644 ※詳細は、パンフレットをご確認ください。 MY-A-17-他-000398



尋常小学算術 (緑表紙)復刻版

広島支社 〒732-0052 広島市東区光町1-7-11 広島CDビル5F TEL 082-261-7246

尋常 小学算術 第六学年児童用



文部省

選者紹介



俳誌「洪柿」代表同人会長
近藤 良悟

元小学校長

元愛媛県俳句協会・松山俳句協会理事
俳号「良郷」

東温市在住



元俳誌「水煙」同人
吉田 晃

元中学校長

日本学生俳句協会愛媛事務局長
松山市在住



俳誌「泉」同人
高山 佳子

元小学校長
松山市在住



池田 尊之

松山市立椿小学校長

(評) 二つの雲が、まるで暑と競争をしているかのようです。猛暑の夏でも、元気いっぱい作者がいます。

優秀

二時間も待って始まる大花火
フリスビーまっすぐとんだなつやすみ
佳作 椿 小一 出村 香帆

佳作

なべの中ぎゆうぎゆうづめのおでんたち
見えるかな空にうかんだ丸い月
ほうしぜみ学校の木でないてるよ
さくらんぼ姉妹それともふたごさん
数秒の連打火花は万華鏡
水しぶきクロー息つぎ青い空
けんかしてまた仲直り夏の風
かんらん車ゆつくり一周夏の空
雷が悪夢を見せる黒い雲
騎馬戦で崩れた肩に秋の風

角野小五 山中日南子
金子小四 稲田 皓介
宮西小二 山内 理子
中萩小六 高橋 胡羽
船木小五 伴野悠之介
椿 小三 中山あいか
石井北小三 福楸 もも
さくら小六 高田 歩実
立間小五 児玉 蒼依
垣生中三 高谷 岳

池田 尊之 先生選

特選

どっじぼおるしゃがんでよけたはるのそら 立間小一 高田 若奈
(評) 穏やかに陽の光が射す春の校庭に広がる笑顔と歓声。とっさにしゃがんだ作者の息づかいが聞こえてきます。

優秀

白いはがき朱のほおずきかきとめる たちばな小四 佐伯 康介
十五夜にふられて今夜は本開く 垣生中二 小笠原 華

佳作

つばめのすみまもりながらとうげこう 石井北小四 相澤 俊太
いつもよりふかくかぶった夏ぼうし 石井北小六 小倉 啓太
はこめがねおさかなみえたなつのうみ 北久米小一 杉野 隆翔

平成28年度 第44回俳句募集応募状況

ジュニアの部					一般の部			
校種	地 区	校数	応募数		地 区	人数	地 区	人数
小	新居	10	28		四国中央	1	伊予	1
小	松山	7	223		新居	2	内子	1
小	伊予	1	5		西条	1	八幡	1
小	大洲	1	52		今治・越智	1	宇和	1
小	宇和	1	61		松山市	17		
中	松山	1	14					
合 計		21	383		合 計		26	
(参考) 27年度		32	645		(参考) 27年度		32	
(参考) 26年度		23	554		(参考) 26年度		40	
(参考) 25年度		21	462		(参考) 25年度		24	

名前聞く父と星見る夜長かな
朝顔がきゆうりのつるでいばりがお
まてまてととんぼとかけっこさんぽみち
里帰り麦茶でかんぱいほくと姉
水とうをわすれて登校秋の雨
秋風といっしょに歩くさんぽ道
若草は若者がひけと祖母が言う

北久米小三 山本 寛貴
桑原小六 平松 由衣
さくら小三 松下朋那未
栗井小四 後藤 大輝
玉谷小三 藤崎 幸希
脇川小三 笹木 胡桃
立間小六 梶岡さくら

入選者の賞、副賞

	ジュニアの部(県学校生協賞)	一般の部
特 選	賞状、辞典	賞状、当該俳句入り色紙(大倉可貴先生画)
優 秀	賞状、筆記具	賞状、筆記具
佳 作	賞状、筆記具	賞状

